

## I

大航海時代が本格化する中、対抗宗教改革の一環としてカトリック教会はイエズス会を中心にアジア布教を行った。明・清を訪れた宣教師は宮廷の保護下でヨーロッパの学術を伝え、たとえば明ではアダム＝シャールが『崇禎曆書』を作成した。また、徐光啓が西洋農法を『農政全書』で紹介したように、これらの技術は実学にも影響した。清では典札問題のため雍正帝がキリスト教の布教を禁止したが、遠近法などを伝えて中国絵画に影響を与えたカステリオーネのように、宣教師は技術者として重用された。また、宣教師は中国の文物をヨーロッパへ紹介したため、シノワズリが流行し、儒学が啓蒙思想に影響したほか、科挙が人材登用制度へと受け継がれた。

(300字)

## II

## A

a-咸陽

b-赤眉

c-洛陽

d-大興城

(1) 商鞅

(2) スキタイ

(3) 半両銭

(4) 項羽

(5) 張騫

(6) 訓詁学

(7) 東晋

(8) 鳩摩羅什

(9) 府兵制

(10) 突厥

(11) 皇后や皇太后・皇妃の親族

## B

(12) イッソスの戦い

(13) ムセイオン

(14) ヘレニズム文化

(15) ヒジュラ

(16) 西ゴート王国

(17) タラス河畔の戦い

(18) アラム語

(19) 「知恵の館」(バイト＝アルヒクマ)

(20) トレド

(21) 景教

(22) タバリー

(23) ワクフ

(24) サーマーン朝

(25) 『バーブル＝ナーマ』

(26) アフガーニー

## III

ウィーン会議でオーストリアを議長とするドイツ連邦が成立した。隣国で産業革命が起こると、プロイセンを中心にドイツ関税同盟が結成され経済的統一が進んだ。1848年革命では、自由主義者がフランクフルト国民議会を開催し、オーストリアを除きプロイセンを中心に統一する小ドイツ主義を採択したが、頓挫した。国王ヴィルヘルム1世の下でビスマルクが鉄血政策を推進する中、プロイセンはデンマーク戦争を起こし、その際に獲得した領土を巡る普墺戦争にも勝利した。プロイセンはオーストリアと南ドイツを除いて北ドイツ連邦を成立させ、さらに統一に干渉するフランスを普仏戦争で破って南ドイツも吸収し、国民国家であるドイツ帝国を成立させた。

(300字)

## IV

## A

## a-軍人皇帝

- (1) ヘイロータイ（ヘロット）
- (2) 市民権を持つ者を、両親ともにアテネの市民層である男性に限った。
- (3) オリンピアの祭典
- (5) トゥキディデス
- (7) 第1回ポエニ戦争
- (9) 元首政（プリンキパトゥス）
- (11) ササン朝（ペルシア）
- (13) オットー1世

## b-ツァーリ

- (4) デロス同盟
- (6) 同盟市
- (8) パウロ
- (10) キリスト教を国教化した。
- (12) c

## B

## c-保留地

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| (14) (ア) 大開墾運動    | (イ) シトー（派）修道会       |
| (15) ノルマン＝コンクエスト  |                     |
| (16) ヨーマン         |                     |
| (17) (ア) テノチティトラン | (イ) メキシコシティ         |
| (18) (ア) アカプルコ    | (イ) ガレオン船           |
| (19) ジャクソン        | (20) 冷凍保存技術が向上したため。 |
| (21) スワヒリ語        | (22) ベーリング          |
| (23) ジョゼフ＝チェンバレン  | (24) メルヴィル          |